

練習試合 2018年04月14日 矢掛高校 VS 中京高校 @中京高校軟式野球部グラウンド

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢 掛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中 京	0	0	0	0	0	1	0	0	×	1

矢：森上 — 小池

文責：春名 野々花（普通科探究コース）

昨年度全国大会優勝校との一戦。矢掛高校の先発は、2年生右腕の森上（総社西中）

- 1回表、矢掛高校の攻撃。相手の好投により三者凡退で抑えられる。
- 1回裏、中京高校の攻撃。一死から四球を与えてしまい、盗塁も決められる。三振で二死となってから、三盗を刺し、ピンチを脱する。
- 2回表、矢掛高校の攻撃。先頭の真砂（木之子中）が右中間に三塁打を放ち出塁し、先制のチャンスを得る。しかし、後続を抑えられ、先制点を奪えない。
- 3回表、矢掛高校の攻撃。下位打線が三者連続三振を喫し、出塁することができない。
- 3回裏、中京高校の攻撃。二死から悪送球で出塁を許すも、次打者を二ゴロで抑える。
- 4回表、矢掛高校の攻撃。一死から小川（真備中）が右前打を放ち出塁するも、盗塁死。
- 4回裏、中京高校の攻撃。一死から死球を与えてしまうも、後続を抑える。
- 5回表、矢掛高校の攻撃。一死から森上が中前打を放ち、続く佐藤孝太（木之子中）が犠打を決め、塁を進めるも、三盗を刺され、無得点。
- 6回表、矢掛高校の攻撃。二死から、赤木（小北中）が出塁するも、次打者を三振に抑えられる。
- 6回裏、中京高校の攻撃。先頭打者に粘られ、11球目が四球となる。さらに次打者にも四球を与えてしまい、無死一・二塁となる。進塁打で二・三塁とされ、投ゴロの間に1点を奪われる。二死から、死球を与えてしまうが、最後は三振でこの回を最少失点で切り抜ける。
- 8回裏、中京高校の攻撃。一死からこの試合初となる安打を放たれてしまうも、盗塁を刺す。
- 9回表、矢掛高校の攻撃。一死から赤木が死球により出塁し、続く大山（小北中）が犠打を決め塁を進め、同点のチャンスを作るが、最後は三振でゲームセット。

矢掛高校は中京高校に1－0で敗北した。今回の試合では、守備面で特に大きなミスはなかったものの、四死球や盗塁を確実に決められ、点を奪われた惜しい結果となった。全国大会優勝校のプレーの精度を肌で感じ、モチベーションが高まっただろう。また、攻撃面ではヒットが見られても、後続が続かない場面が多かったように思う。もう少し、粘り強いプレーが出来るようにバッティング強化を行っていきたい。この遠征で改めて各自の課題が見えたと思うので、それらを改善し、春大会に臨みたい。

今シーズンの勝敗

15 勝 4 敗 3 分